

2018年 沖縄週間／沖縄の旅

参加のご案内

6月22日（金）～25日（月）

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、
へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、
めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。

（フィリピ 2:3, 4）

ぬち

たから

命どう宝

～キリストを生きる～

今年には1988年の第1回目の正義と平和協議会「命どう宝」in 沖縄が開催されてから30周年、また管区総会の決議によって沖縄週間／沖縄の旅が始まって24回目を迎えます。今日に至るまで、沖縄のことを自分の問題として受け止め、共に祈り共に歩んでくださった日本聖公会の諸教会の皆様感謝を申し上げます。

さて、今年のテーマもまた「命どう宝」の言葉を冠に、キリストを生きる、としました。多様な問題を抱え混迷する私たちの世界や社会において、わたしたちは、神さまから賜った命をこそ大切にし、み言葉によって、キリストを生きる者になりたいとの思いからです。そしてテーマ聖句には、フィリピの信徒への手紙第2章の3, 4節を配しました。それは「わたしたちが推進している沖縄週間／沖縄の旅そのものがどういう姿勢をとっているのか」という問い掛けから始まったものです。

教会には様々な理解、見解、主張を持った人びとが集います。わたしたちの目には小さな違いのように見えることが原因となり教団、教派が分かれていることは今までの歴史が証するものです。平和について、正義についての理解も人それぞれ異なります。ある人は「軍事力による抑止力が平和を保障する」と主張します。それに対して「話し合い、理解し合う過程を通して平和は得られる」という声もあります。

聖公会という教会は、このような様々な理解・意見の違いを持つ人びとがどうすればひとつの教会、キリストに結ばれたひとつの体として歩むことができるだろうかという思いと反省のうちに歩む教会です。全く違う考え方をもっていても“もう交わらない”で終わらず、キリスト・イエスの十字架によってひとつの体とされたため、“どうすればキリストを頭とする「ひとつの体」として「共に」歩むことができるだろうか”と重ねて議論し合い話し合うスタンスを大切にすることです。その意味で最も気を付けないといけないことは、“自分と異なる意見を受け入れきれない教会”になってしまうことではないでしょうか。「わたしの意見・考え方は聖書に基づいているものであるが、あなたの考え・主張はそうではない」と決めつけ、それ以上の話し合いができなくなることはないでしょうか。確かに見通しの立たない問題を取り上げ、話し合いを続けるには相当な時間とエネルギーが必要です。断定をせずもう一度考えることは決して簡単なことではありません。しかし聖書・伝統・理性の上に立っている聖公会が宝物にしてきた精神であり遺産である“受け入れ合う、赦しあう”ことを、改めて思い起こす必要があると強く思います。

様々な考えを持つ多くの方々のご参加をお待ちしています。沖縄の現状を通して共に話し合い、考えの違いから生じる新しい恵みを分かち合うことこそ、聖公会が大切にしているヴィア・メディア・アングリカナ(via media Anglicana)だからです。多少疲れるかもしれませんが。大きな声が飛び交うかもしれません。顔が赤くなるかもしれません。にもかかわらず交わりを持つことにより、クリスチャン共同体(公会)を通して示される神様のみ心はより明らかになると信じます。沖縄の歴史と現状を通してたくさんの気づきと恵みがあることを祈りつつ、皆様のご参加を心からお待ちしております。

(日本聖公会沖縄教区委員 司祭 金 汀^{じょうす}洙)

※2014年の日本聖公会第61(定期)総会にて、これまでに続いて「沖縄週間」の継続が決議されました。これは、日本聖公会の全教区・教会が沖縄の現実に思いを寄せ、わたしたち自身が主の平和を求めて祈ることを目的とするものです。沖縄教区と日本聖公会正義と平和委員会は、この週間にあわせ、沖縄の歴史及び現在を学ぶ旅を行い、全国の皆さんをお誘いしています。ぜひ多くの方々のご参加くださるよう、お待ちしております。

沖縄週間の祈り

歴史と生命の主である神よ、私たちが平和の器にしてください。
嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、
敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と赦しをお与えください。
私たちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中に癒しを、
疑いの中にあなたへの信仰を、主よ、豊かに注ぎ込んでください。
この沖縄週間を通して私たちに、
あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。
私たちの主イエス・キリストのいつくしみによって、
このお祈りをお献げいたします。 アーメン

主催 日本聖公会 沖縄教区
日本聖公会 正義と平和委員会

参加のしおり

航空券手配について

3日目の6月24日(日)の宿泊と共に、市販の「ホテルパック」で手配されることをお勧めします(航空券とホテルを別に予約するよりも安く購入できます)。各地発および帰りの沖縄発の時間はプログラムに支障のないようご設定ください。

Peach Aviation、バニラエアをご利用の方はLCCターミナル到着となります。ターミナルから集合場所まで移動時間を要しますのでご考慮ください。

宿泊について

- ・ 1日目 22日の宿泊は伊江島「IE アイランド」です。個室はありません。
- ・ 2日目 23日の宿泊は基本的に当方で手配します(各教会へ分宿)。
- ・ 3日目 24日の宿泊は、ホテルパックのホテルです。各自で三原聖ペテロ聖パウロ教会に近いホテルをご予約ください。(費用を抑えたい方は、教会への宿泊も手配できます。ご相談ください)。

費用(概算)

- ・ 22日宿泊費 ホテル 6,500円(朝食込)
- ・ 23日宿泊費 教会分宿 3,000円
- ・ 24日宿泊 ホテルパック 各自
- ・ プログラム参加費 6,000円
(※精算の上、追加徴収があるかもしれません。)
- ・ 食事代(22日夕・23日昼・24日夕・25日昼)
3,000円程度

合計金額 各地からのホテルパック + 19,000円程度

集合時間・場所

12時30分に 那覇空港1階「到着口B」付近へ各自昼食を済ませてお集まりください。スタッフお待ちしています。

定員 35名(沖縄教区以外の方)

締め切り 5月7日(月)

申込先

〒162-0805 新宿区矢来町65番地 日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会 宛
電話 03(5228)3171 Fax. 03(5228)3175

スタッフ

- ・ 日本聖公会 沖縄教区
主教上原榮正、司祭岩佐直人、執事上原成和、司祭金 汀洙、司祭高良孝太郎、高良孝子、
富本盛彦、並里 厚、司祭並里輝枝、司祭西平妙子
- ・ 日本聖公会 正義と平和委員会・沖縄プロジェクト
司祭長田吉史、司祭小林祐二、司祭柴本孝夫

2018年 沖縄週間／沖縄の旅 プログラム

6月22日(金)～25日(月)

今回のプログラムは、テーマ「命どう宝 ～キリストを生きる～」のもと企画しています。以下にそのトピックをお知らせします。

- 22日(金)： 那覇空港にて集合し、本部港へ移動、フェリーにて伊江島へ渡ります。
伊江島にて戦争体験者のお話を聴き、就寝前の祈りの後、当方手配のホテル泊。
- 23日(土)： ホテルで朝食を済ませ、「わびあいの里」にてお話を聴きます。
その後伊江島フィールドトリップへ。夜は沖縄教区内の諸教会に分かれて過ごします(分宿)。
- 24日(日)： 分宿先教会で主日礼拝・愛餐会に参加します。
午後は北谷諸魂教会に集まり沖縄教区「慰霊の日」礼拝・プログラムに参加します。
夕方三原教会へ戻り、夕食をかねての交流会。ホテルパックでご予約のホテル泊。
- 25日(月)： ホテルで朝食を済ませ三原教会に集合。分かち合いと閉会礼拝。昼食後解散。
三原教会から那覇空港まではモノレール(ゆいレール)をご利用ください。教会最寄り駅は「安里駅」です。教会から駅まで徒歩約10分、約20分乗車で那覇空港到着です。

日 時	1日目	2日目	3日目	4日目
	6月22日(金)	23日(土)	24日(日)	25日(月)
8:00 :30		朝食 ホテルにて	朝食 各教会にて	朝食 ホテルにて
9:00 :30		「わびあいの里」へ	各教会の礼拝に出席	三原教会集合 分かち合い
10:00 :30				
11:00 :30				閉会礼拝
12:00 :30	那覇空港集合、受付	昼食	昼食(各教会)	昼食(弁当)
13:00 :30	バスで本部港へ出発	伊江島フィールドトリップ	北谷諸魂教会へ	解散
14:00 :30	車中で開会の祈り			
15:00 :30	教区センター経由、名護 聖ヨハネ教会にて受付		沖縄教区「慰霊の日」礼 拝	
16:00 :30	本部港着	フェリーで本部港へ 各分宿教会へ移動	三原教会へ移動 夕食・懇親会	
17:00 :30	フェリーで伊江島へ(約30分)			
18:00 :30	夕食(「いーじまとうんが」にて)		就寝前の祈り・アナウンス ホテルへ移動、就寝	
19:00 :30	講演会 「伊江島での戦争体験」			
20:00 :30	就寝前の祈り・アナウンス			
21:00	ホテルへ移動、就寝			
宿泊	当方手配のホテル	各教会	各自手配のホテル	

旅に用意するもの・服装の注意

* この沖縄週間／沖縄の旅の実施期間は、ちょうど沖縄の梅雨明けの頃になります。この頃の雨は、一日中降り続くことは少なく、夕立のような降り方が多いです。簡単な雨具（折り畳みの傘、ビニールの雨具）を用意しておくといよいでしょう。



* 沖縄の6月下旬の気候は、本土各地の真夏頃の気温・日射しです。必ず防暑・脱水対策をしてください。日中の強い直射日光（紫外線）を避けるため、「つばのある帽子」は必需品です。肌の弱い方は特に、日焼け止めクリーム、袖のある上着（薄手の長袖シャツ）、日傘、サングラスなどをご用意ください。



☆ 服装の注意ポイント

1. 汗を吸う素材のもの（木綿、ドライ素材のもの）
2. 半ズボン、キュロットスカート、コットンスラックス、ジーンズなど、暑さを防ぎ、動きやすい（リラックスできる）もの
3. 着替えを多めに
4. 行き帰りの飛行機、移動のバスの中は冷房が強く感じられることがあります。すぐ羽織ることのできる上着など
5. 移動が多いため、歩きやすい靴



お申し込みの際して

- 下記申込書にご記入の上、日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会宛にお送りください。
〒162-0805新宿区矢来町65番地 TEL 03(5228)3171 FAX 03(5228)3175
- 航空券手配、宿泊場所について、その他
『参加のご案内』の「参加のしおり」をよくご覧ください。
- 締切日は5月7日(月)です。

----- キリトリ -----

2018年 沖縄週間 / 沖縄の旅 申込書

ふりがな			年 齢	性 別
氏 名			歳	
	※宿泊部屋割り、保険申込のために用います。			
住 所	〒			
電 話	()	FAX	()	
携帯電話	()	Email		
所属教区 所属教会	教 区		教 会	
利用航空便について				
往	日	航空会社名	便	那覇空港 着 時刻 :
復	日	航空会社名	便	那覇空港 発 時刻 :
宿泊について				
24日	ホテル () ・ 三原聖ペテロ聖パウロ教会 ※決まっていればホテルを記入。教会宿泊を希望する場合は○で囲んでください。			
食事について (必要なところにチェックマークを入れてください。)				
<input type="checkbox"/> 22夕 <input type="checkbox"/> 23昼 <input type="checkbox"/> 24夕 <input type="checkbox"/> 25昼				
自己紹介欄 (ご自由にどうぞ。参加動機などもお聞かせください。)				

三原聖ペテロ聖パウロ教会周辺 および ホテル案内図

三原聖ペテロ聖パウロ教会から半径 1km 以内のホテルを旅行サイトで検索した地図です。



裏面あり



表の図から、モノレール牧志・安里駅付近を拡大した図です。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ① ダイワロイネットホテル那覇国際通り | ⑪ ステーションホテル 牧志 |
| ② 南西観光ホテル | ⑫ カプセルイン沖縄 |
| ③ アベストCUBE那覇国際通り (2016年12月OPEN) | ⑬ ホテルロイヤルオリオン |
| ④ CLASSINN与儀 | ⑭ ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 |
| ⑤ ホテル オーシャン (那覇国際通り) | ⑮ ゲストハウス沖縄物語 |
| ⑥ ベストウェスタン那覇イン | ⑯ CLASSINN おもろまち駅前 |
| ⑦ Mr. KINJO Eminence inn Makishi | ⑰ MaxiALPA マキシールパ |
| ⑧ 沖縄都ホテル | ⑱ ビジネスホテルうえず荘 |
| ⑨ ホテル サン・クイーン (那覇/国際通り沿い) | ⑳ Terra Firma 沖縄 女性専用ゲストハウス |
| ⑩ 沖縄ホテル | ㉑ グランスイートおもろまち |

牧志、国際通り沿い、おもろまち付近は上記の他にも多くのホテルが建ち並ぶ地域です。それぞれご検索のうえお選びください。

※上記のうち三原教会から最寄りのホテルは⑥ (徒歩約10分) です。